

■「令和の里海づくり」モデル事業における取組

活動地域：大阪湾 湾奥部（大阪府堺市）

活動団体：ENEOS 株式会社 堺製油所・ENEOS ホールディングス株式会社

モデル事業概要	
採択年度	2022（令和 4）年度
モデル事業	企業所有護岸において藻場の創出に取り組むとともに、地域住民に、藻場の創出状況や藻場の保全・創出の重要性をわかりやすく発信することに取り組む。これらの取組みにより地域住民と地元の海とのつながりを構築し、閉鎖性海域の環境改善にむけた理解を促進する。
背景	
地域の資源	【自然】 ◇ 埋め立て地の造成等で自然の干潟等はほとんどないが、人工干潟や生物共生型護岸等の整備が行われている。 【海産物・食】 ◇ 堺では沿岸漁業が中心であり、スズキ、キジハタ、サワラ、マアジ、クロダイ、タチウオ、カレイ等が漁獲されている。 【歴史・文化・町並み】 ◇ かつては「東洋のベニス」とも呼ばれ、国際貿易都市として繁栄し、臨海工業地帯の造成により経済発展に大きく貢献してきた。 ◇ 国の指定史跡になっている旧堺燈台（現存する日本最古の木造洋式灯台の一つ）等歴史的な文化資源を有する。 【アクティビティ】 ◇ 臨海部には大浜公園や海とのふれあい広場など様々な公園が整備され、憩いの場となっている（散歩、釣り、バーベキュー、ドッグラン等）
地域の課題	◇ 大阪湾奥部に面する企業所有護岸における藻場創出等の取組みについては、これまで、関連する技術の現場への適用可能性が明らかでなかった。 ◇ 企業所有の護岸については、安全管理上（操業や保安等）、企業関係者以外が近寄ることは困難であるため、地域住民と地元の海とのつながりが構築されていない。
令和の里海づくり（保全と活用の好循環形成）	
好循環形成のビジョン	
（保全） ◇ 藻場の創出、保全・維持活動 ◇ OECM（保護地域以外で生物多様性保全に資する地域）認定にむけた取組	

(活用)

◇ 環境学習の場の提供（製油所内の見学会等）

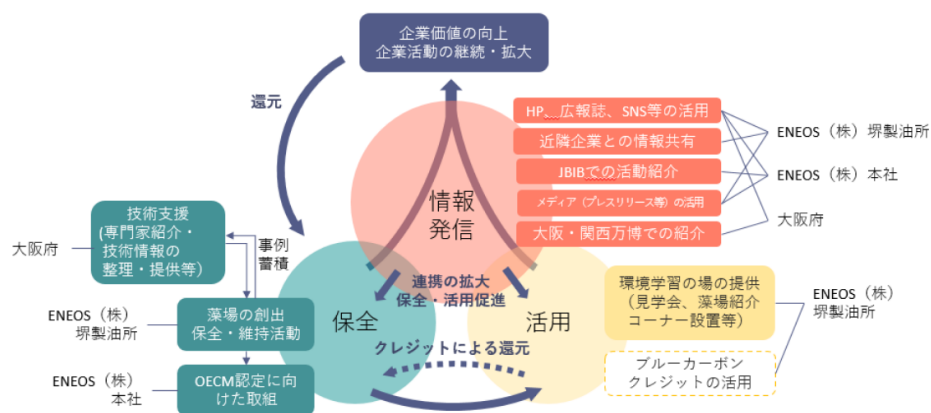
◇ ブルーカーボンへの取組の検討

(好循環形成・促進)

◇ 活動内容の情報発信（広報誌への定期掲載、近隣企業との情報共有、JBIB[※]での活動紹介等）

※JBIB（Japan Business Initiative for Biodiversity：企業と生物多様性イニシアティブ）：生物多様性の保全を目指して積極的に行動する企業の集まり

<好循環のイメージ>



作成：ENEOS（株）堺製油所・ENEOSホールディングス（株）